

利益相反に関する自己申告書

- 対象者（該当箇所には☑）：本学会の役員（代表理事 事務局長 理事 監事 会長 評議員）
各種委員会委員長およびワーキンググループ長
各種委員会委員およびワーキンググループメンバー
正会員
本会が行う学術集会、シンポジウム、講演会、市民公開講座等の発表・講演の発表者
- 対象年（該当箇所には☑）：過去年分（20 年 ～ 20 年）

申告書A. 申告者自身の申告

1. 企業や営利を目的とした団体（以下、企業等、という）の役員、顧問職の有無、報酬額

※1つの企業・団体から過去1年間に支払われた報酬額が100万円以上のものを記載

有（以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	役割（役員・顧問等）	報酬額
①			
②			
③			

2. 株の保有の有無、その株式から得られる利益

※1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載

有（以下に記載） 無

	企業名	持ち株数	5%以上 保有	申告時の株価 (1株あたり)	最近1年間の本 株式による利益
①					
②					
③					

3. 企業や・組織や団体からの特許権使用料として支払われた報酬

※1つの特許権使用料が年間100万円以上あれば記載

有（以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	特許名	特許権使用料・譲渡料
①			
②			
③			

4. 企業等から、日当・出席料・講演料等として支払われた報酬

（講演料など）※1つの企業・組織や団体からの年間合計100万円以上のものを記載

有（以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	講演料の金額
①		
②		
③		

5. 企業・組織から執筆に対して支払われた原稿料（執筆料）

※1つの企業・組織や団体から年間合計100万円以上のものを記載

有（以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	原稿料の金額
①		
②		
③		

6. 企業・組織や団体が提供する研究費

※1つの企業・組織や団体から医学系研究（治験、受託研究費、共同研究費など）に対して支払われた総額が年間200万円以上のものを記載

有（以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	研究名	金額
①			
②			
③			

7. 企業・組織や団体が提供する奨学（奨励）寄付金

※1つの企業・組織や団体から、申告者または申告者が所属する講座・分野あるいは研究室の代表に支払われた総額が年間200万円以上のものを記載

有（以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	研究名	金額
①			
②			
③			

8. 1つの企業等から受けたその他の報酬等（研究とは直接無関係な旅行、贈答品等）

※1つの企業・組織や団体から、申告者または申告者が所属する講座・分野あるいは研究室の代表に支払われた総額が年間30万円以上のものを記載

有（以下に記載） 無

	企業・組織・団体名	内容	金額
①			
②			

9. 配偶者または一親等の者の利益相反

有（申告書Bに記載して提出） 無（申告書Bは不要）

誓約：私の利益相反は上記の通りであることに相違ありません。私が日本神経麻酔集中治療学会での職務遂行上で妨げとる、

上記以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は社会的・法的な要請があった場合は公開することを承認します。申告後、新たに利益相反が発生した場合は、6週間以内に修正した申告書を提出します。

申告者名（自署）： _____ ⑨申告日 20____年 ____月 ____日

所属（施設/部署）： _____ / _____

提出先： jsnacc@narmed-u.ac.jp または FAX 0744-23-9741

申告書B. 申告者の配偶者または一親等の者の申告

1. 企業や営利を目的とした団体(以下, 企業等, という)の役員, 顧問職の有無. 報酬額

※1つの企業・団体から過去1年間に支払われた報酬額が100万円以上のものを記載

有 (以下に記載) 無

	企業・組織・団体名	役割 (役員・顧問等)	報酬額
①			
②			
③			

2. 株の保有の有無、その株式から得られる利益

※1つの企業の1年間の利益が100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有のものを記載

有 (以下に記載) 無

	企業名	持ち株数	5%以上 保有	申告時の株価 (1株あたり)	最近1年間の本 株式による利益
①					
②					
③					

3. 企業や・組織や団体からの特許権使用料として支払われた報酬

※1つの特許権使用料が年間100万円以上あれば記載

有 (以下に記載) 無

	企業・組織・団体名	特許名	特許権使用料・譲渡料
①			
②			
③			

4. 1つの企業等から受けたその他の報酬等 (研究とは直接無関係な旅行, 贈答品等)

※1つの企業・組織や団体から、申告者または申告者が所属する講座・分野あるいは研究室の代表に支払われた総額が年間30万円以上のものを記載

有 (以下に記載) 無

	企業・組織・団体名	内容	金額
①			
②			
③			

誓約: 私の利益相反は上記の通りであることに相違ありません。

会員である私の生計を一にする配偶者または一親等の者()

が日本神経 麻酔集中治療学会での職務遂行上で妨げとなる、上記以外の利益相反状態は一切ありません。なお、本申告書の内容は社会的・法的な要請があった場合は公開することを承認します。申告後、新たに利益相反が発生した場合は、6週間以内に修正した申告書を提出します。

申告者名 (自署) : _____ (印) 申告日 20____年 ____月 ____日